

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成29年1月24日
主管学校名	愛知教育大学附属特別支援学校
PTA会長名	山本 結花

実施概要	主管校	愛知教育大学附属特別支援学校
	交流校	愛知教育大学附属岡崎小学校
	実施活動名	イモほり会、焼きイモ会
	実施日時	平成28年11月21日(月)9:20～、平成28年12月5日(月)9:20～
	実施場所	愛知教育大学附属特別支援学校野外実習地(農園)、愛知教育大学附属特別支援学校運動場
	実施目的	附属特別支援学校の児童が育てたサツマイモを附属岡崎小学校の児童と一緒に収穫し、その後、焼き芋大会を行って、一緒に食す。
	実施内容	5月に、本校児童が、サツマイモのつるさしを行う。そして、水やりをしたり、草取りをしたりして育てたサツマイモを、日頃から交流のある附属岡崎小学校の児童を招いて、一緒に収穫する。また、収穫したサツマイモで焼き芋大会を行う。
	実施方法	愛知教育大学附属特別支援学校の農園に附属岡崎小学校の児童を招いて、一緒にサツマイモを収穫する。また、特別支援学校運動場にて焼き芋大会を行う。
参加人数	46名(附属特別支援学校13名、附属岡崎小学校33名) 教員11名	

報告事項	内容	<p>本校小学部児童(1年～6年)13名と、附属岡崎小学校4年3組の児童33名とで実施した。 【グループ編成】 附属特別支援学校さくら学級(1・2年)3名と、附属岡崎小学校4年3組児童9名 " すみれ学級(3・4年)5名と、" 児童12名 " あおい学級(5・6年)5名と、" 児童12名 このようにグループ編成し、グループでの活動により、イモほり会と焼きイモ会を実施した。なお、会の始めと終わりには、附属岡崎小学校4年3組の代表児童があいさつをした。</p>
	結果	<p>【イモほり会】 附属特別支援学校の児童1名と附属岡崎小学校の児童数名が、順番にサツマイモ掘りを行った。スコップを使って掘る子どももいた。 附属岡崎小学校の児童が、附属特別支援学校の児童のために、イモの周りの土を取り除いて掘りやすくしている姿も見られ、仲良く活動することができた。 長さ20cmほどのイモがたくさん収穫でき、子どもたちは大喜びだった。 【焼きイモ会】 子どもたちがイモを入れるときに、ちょうど火の加減がよくなるように、朝8時から火をたいた。グループごとに、順番にイモを火に投入した。いったん解散した後、焼きイモができあがる頃にもう一度集合して、グループごとに座卓の周りに集まり、ほくほくに焼けたイモを食べた。とてもおいしくできあがり、焼きイモを食べる子どもたちからは、たくさんの笑顔が見られた。</p>
	所感	<p>なるべく子どもたちの主体的な交流活動になるように、安全面以外について、教師は、できるだけ見守るスタンスをとった。そのこともあり、子ども同士の交流が活発になったと思う。待ち時間に、一緒に絵本を見たり、紙飛行機を作ったりする姿も見られ、価値のある交流だったと考える。また、今回、新しい試みとして焼きイモ会を行った。サツマイモを通して2回交流できたことはよかった。</p>

添付書類	収支決算書、領収書、参加者の声(附属特別支援学校児童の絵)、参加者の声(保護者の感想)、写真
------	--

共生プロジェクト（イモほり会）



共生プロジェクト（焼きイモ会）



カンガルーシップ活動
共生プロジェクト参加感想

提出日	平成29年1月24日
学校名	愛知教育大学附属特別支援学校
学年	小3



大きなサツマイモを収穫した場面の絵 小学部3年A男

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日 平成29年1月24日

学校名 愛知教育大学附属特別支援学校

【イモ掘り会 愛知教育大学附属特別支援学校 小学部保護者の感想】

附属 小学校の生徒の方々と いもほりを通じて交流している様子を見て、とてもうれしく感じました。声をかけ、接してくれている姿が向き合ってくれていることを感じました。保護者の方とお話もでき、貴重な時間を過ごすことができました。

附小の子との交流を参観できることとても楽しみにしていました。附特の子を相手に、対等に困っている姿におもしろい場面があり、一生懸命にやってくれる姿に感動し、いい思い出になりました。優しい子ばかりで嬉しかったです。附小の子たちと、この機会を作ってくれた先生方に感謝しております。ありがとうございました。

いも掘りの交流を見学しました。同年代のお子さんには余り興味を示さないイメージがあった我が子が一緒に参加でき指示にも従い楽しんでいほよかったです。よい経験になりました。

【イモ掘り会 愛知教育大学附属特別支援学校 父母教師会長の感想】

寒くなくちょうど良い温かさで、一昨日の雨のおかげで土もやわらかく、芋掘り日和でした。

附小の児童さん、本校の子供たちの介護に手慣れていてびっくりしました。

附小の保護者の方も「障がいのある子に対しても優しく接する子に育て欲しい」と交流を楽しんでいました。

私も子供達が掘り終わったころに掘らせて頂きました。

童心に戻り、まるで宝探しをする様な気分になりました。

私の子供が小学部の時、こんな交流があれば良かったのになと少し羨しく思いました。

焼き芋会も楽しみにしています。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日 平成29年1月24日

学校名 愛知教育大学附属特別支援学校

【焼きイモ会 愛知教育大学附属特別支援学校 小学部保護者の感想】

附小の子供達と交流で焼きイモ会があり一緒に参加させて
もらいました。

自由の元身いっしょに子供達に親の私はハウワシで見ました。附小の子供達は動じる事なく自然にその子に合わせて一緒に活動をしてくださいました。

どの子もニコニコして見ていことも嬉しく、いっしょに暖かくする交流会でした。

【焼きイモ会 愛知教育大学附属特別支援学校 父母教師会長の感想】

12/5(A) 前日の雨で少し運動場はぬかるみがありましたか、とても暖かい日に行われました。芋掘りの時もどうでしたか、附小の児童さんは、本校の小学部の子の世話がとても上手で感心しました。(走っている子をうまく追いかけたり、火に近づけない様にしたり) 小学部の保護者の方たちとも沢山お話をすることができ、とても楽しいひと時を過ごすことができました、ありがとうございました。(おいしかったです。)